

荒川（下流域・上流域）流域治水協議会

議事概要

日時：令和5年4月20日（木） 10:00 ～ 11:15

会場：羽越河川国道事務所 大石ダム会議所（WEB併用）

議事1）規約改正

- ・ 改正案のとおり承認された。

議事2）荒川水系流域治水プロジェクト

（1）プロジェクト（令和4年3月公表）の更新について

- ・ 更新案のとおり承認された。

（2）令和4年度プロジェクトの取り組み事例について

【主な意見】

（村上市長）

●航空レーザー測量の活用について

- ・ 「流域治水における砂防と森林・治山の連携（資料P45）」で実施する航空レーザー測量の活用について提案したい。
 - ① 現在、各自治体と県が連携しながら森林資源活用に向けた取り組みを行っている。上空からの映像では森林の樹種、輪郭、位置と周辺地形まで把握できる。平時は森林産業に活用しているが、防災にも活用できるため、農水と防災などをリンクさせる仕組みができると良いと考えている。
 - ② 現状は森林資源の範囲をピンポイントで計測しているが、県土全体網羅する範囲にすれば、全体が把握できる。可能かどうかの確認を含め、提案させて頂きたい。
 - ③ 航空レーザー測量だけでなく、ドローンでより詳細な地形も把握できるため、合わせて検討頂きたい。気候の良い条件下で地形を確認しておくことが非常に重要であり、可視化されていると変化した時の状態把握が可能となる。

（飯豊山系砂防事務所長）

- ・ 航空レーザー測量のデータについては、しっかり活用していきたいと思う。
- ・ 今年度で荒川流域全体の航空レーザー測量を完了させることになっている。下流域の関係機関にそのデータを協力提供し、点群データや森林の中でどのようなことが起きているか検討して頂き、その結果を踏まえて我々も流木対策やその他の対策を考えたい。
- ・ 今年度まさにスタートの段階であり、市長の提案も踏まえてしっかり連携していきたい。

●荒川右岸支川（堀川）の取り組みについて

- ・ 春木山大沢川の事業推進については感謝する。春木山大沢川は荒川左岸支川の復旧で、しっかりと位置付けされているが、右岸支川は市で実施している滝矢川や、その上流の堀川についても、実は大変な状況になっている。
- ・ 県との関係や、流域治水プロジェクトに取り込むかどうかは別として、実際の水害が発生した際はどのような状況になるのかは市も把握している。
- ・ 地域住民は、河道掘削や河道拡幅に係る要望をあげるが、これも一つの手法とし、これを含めた形で、例えば田んぼダムで取り組むなど、様々な形の取り組みを含めて検討していくことが必要である。
- ・ 堀川については象徴的なため、今回の流域治水プロジェクトとは別になるのかもしれないが、しっかり議論を進めていった方が良い。
- ・ 現在、村上市は一級河川、二級河川それと普通河川、それを網羅した形で地域全体の流域治水の取り組みを進めている。そんなところも国・県の指導頂きながら、繋がっている河川を俯瞰的に見ていくのが良いと考えている。
- ・ 荒川右岸側で取り組んでいる田んぼダムでオーバーフローしたものは止めきれない。止めようとすると大変な作業になるため、その辺りをどのような仕掛けで、地域住民の納得を得ながら行うことが非常に重要な視点と思う。よろしく願いたい。

（新潟県村上地域整備部長）

- ・ 堀川については、地盤が低くて水はけが悪く河川管理者としても対応について苦慮している状況である。

（関川村長）

●高田地区治水について

- ・ 高田地区における対策について、国交省、県当局には各種方策を協議頂き感謝する。
- ・ 高田地区は前回の水害でほぼ集落が水没するような影響を受けたため、地域がかなり危機感を持っている。
- ・ 今回、前川の治水対策では、溢水した氾濫水から住宅を守るための対策と、もう一つは排水樋門で氾濫水を集落から堤外に速やかに排水する対策ということで大変ありがたい。
- ・ 一方、地元では、技術的、データの検討したわけではないが、現存の樋門と村の樋門を無くし、前川を昔の前川に戻すようにして、できれば女川に樋門を設置してほしい旨の要望があり、それも考え方の一つと思う。
- ・ 是非地元の思いを酌んで頂き、今回も検討段階でもいろいろ分析して頂いているが、地元の考え方も技術的に分析し地元へ丁寧に説明頂き、必要性や妥当性を含めて十分地元と協議し、合意のうえなるべく早く進めるように願いたい。

（新潟県村上地域整備部長）

- ・ 高田地区については、昨年 12 月 26 日のプロジェクト公表後、役場および地域住民と話し合いを重ね、資料（P42）にあるような治水対策の検討を進めてきた。
- ・ 地域の皆さんの思いはいろいろあり、村長が言われたように女川へ流してほしいという意見等もあった。
- ・ そういったご意見を他にもいろいろ伺っていくところで、今、技術的分析、妥当性、わかりやすくという意見があったため、地域住民の皆さんにしっかりそういったことを伝えられるよう引き続き、国、県、自治体と連携していきたいと思っている。

（小国町長）

●上流域における砂防・流木対策について

- ・ 荒川上流域の大半は小国町となるが、災害、異常気象時には、山形地方気象台はじめ飯豊山系砂防事務所から、都度頼りになる情報を頂いて、それに基づいて災害対応していくシステムが出来上がっている。
- ・ 上流域から下流域に流れていく流木について、飯豊山系砂防事務所の砂防ダムについても、最近では流木を捕捉する形式のものを数多く設置して頂いている。
- ・ 羽越水害では流木が街中に流れたという結果があるが、昨年 8 月 3 日、4 日の豪雨についても、流木がそのまま流下すると街中の橋に掛って溢水する状況になるわけだが、それがほとんどなかったというのは非常に大きな成果と理解している。
- ・ 今後も飯豊山系砂防事務所において、是非砂防ダムの整備をしっかり進めて頂きたい。

●河川の取水について

- ・ 豪雨によって河川の河床が下がるという問題が出てきている。当然、防災を優先に考えなければならないが、同時に河床が下がり沿川農家で取水できないという問題が出ています。
- ・ これは、荒川流域治水という観点からは少し異なる問題ではあるが、是非取水についても検討も行って頂ければありがたい。

（胎内市長（代理：総務課長））

●大日川改修について

- ・ 胎内市で大きく関係する事業に大日川改修があげられる。昨年 8 月の大雨時には集落内を流れる大日川も氾濫寸前まで上昇した。こういった中で大日川の河道掘削を実施して頂けるのは地域の住民にとっても安心につながり、大変ありがたく思っている。
- ・ こういった河道掘削は継続して取り組んで頂ければありがたい。また、今後新発田地域振興局、村上地域振興局の両者にまたがる河川改修も本年度から実施されていくと伺っている。両者連携のもと、早期に完成されることを期待する。

議事 3）多段階浸水想定、リスクマップの公表について

- ・ 異議なし。